

上場会社名 D I C株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4631 URL http://www.dic-global.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 義之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之 TEL 03-6733-3000
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 平成26年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	408,385	—	19,807	—	18,371	—	10,319	—
25年12月期第2四半期	384,955	10.0	22,781	22.3	20,659	24.9	10,682	△6.6

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 3,431百万円 (-%) 25年12月期第2四半期 37,449百万円 (134.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	11.23	—
25年12月期第2四半期	11.66	—

当社ならびに一部を除く国内子会社は、平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、当第2四半期(平成26年1月1日から平成26年6月30日)と、比較対象となる前第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。(前第2四半期は、当社及び3月決算であった連結対象会社は平成25年4月1日から平成25年9月30日を、12月決算であった連結対象会社は平成25年1月1日から平成25年6月30日をそれぞれ連結対象期間としておりました。)

〔参考〕

下記の%表示(調整後増減率)は、当第2四半期(平成26年1月1日から平成26年6月30日)に対応する前年同一期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日)と比較した増減率です。

売上高 営業利益 経常利益 四半期純利益 (単位:百万円)
 408,385 7.7% 19,807 △1.9% 18,371 △0.9% 10,319 6.5%

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	786,364	229,799	26.2
25年12月期	761,690	218,947	25.6

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 206,408百万円 25年12月期 195,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年12月期	—	3.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850,000	—	50,000	—	46,000	—	24,500	—	26.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

前連結会計年度は、決算期の変更により、3月決算であった当社ならびに国内子会社につきましては、平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間を連結対象期間としておりました。このため、対前期増減率については記載しておりません。

〔参考〕

下記の％表示（調整後増減率）は、平成26年12月期に対応する前年同一期間（平成25年1月1日から平成25年12月31日）と比較した増減率です。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	（単位：百万円）
通期	850,000 8.4%	50,000 13.3%	46,000 12.5%	24,500 △14.8%	

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）—、除外 一社 （社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は、添付資料4ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期2Q	965,372,048株	25年12月期	919,372,048株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	3,419,673株	25年12月期	3,396,764株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期2Q	919,189,483株	25年12月期2Q	916,002,816株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況	1
(2) 当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績	1
(3) 2014年度通期業績予想	3
2. 財政状態	4
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績

当社及び一部を除く国内子会社は、平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。当第2四半期連結累計期間の状況に関しては、海外子会社、国内会社ともに平成26年1月1日～6月30日までの期間について記載しております。なお、前年同期と比較する場合については、当期連結対象期間と同一の期間に調整した数値を前年同期実績として記載し、調整後の前年同期実績との対比による増減比を記載しています。

(1) 当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境については、北米・欧州においては、景気の回復が継続する一方、アジアでは、中国において成長鈍化の傾向が見られた他、東南アジア、インドにおいても需要は伸び悩みました。国内においては、景気回復基調にあるものの、消費税率引上げに伴い、需要は弱含みで推移しました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内外における出荷の増加や円安の影響などにより4,084億円と前年同期比7.7%の増収となりました。

営業利益は、原料高の影響などにより、198億円と前年同期比1.9%の減益となりました。

経常利益は、184億円と前年同期比0.9%の減益となりました。

四半期純利益は、103億円と前年同期比6.5%の増益となりました。

	前第2四半期 連結累計期間実績 (調整後)	当第2四半期 連結累計期間実績	前年同期比 (調整後)	
				為替影響排除後
売上高	3,791億円	4,084億円	+7.7%	+3.2%
営業利益	202	198	△1.9%	△3.9%
経常利益	185	184	△0.9%	--
四半期純利益	97	103	+6.5%	--

(注1) 当第2四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均:平成26年1月～6月)は、102.49円/米ドル(前年同期:94.57円/米ドル)を適用しています。

(注2) 前年同期実績については、当期の連結対象期間に調整した数値を記載しています。

(2) 当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位:億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第2 四半期 連結累計 期間実績 (調整後)	当第2 四半期 連結累計 期間実績	前年同期比 (調整後)		前第2 四半期 連結累計 期間実績 (調整後)	当第2 四半期 連結累計 期間実績	前年同期比 (調整後)	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
プリンティングインキ	1,904	2,020	+6.1%	△0.0%	71	73	+1.9%	+1.0%
ファインケミカル	627	690	+10.1%	+4.0%	66	70	+5.3%	+2.2%
ポリマ	842	942	+11.9%	+10.6%	56	41	△27.9%	△28.7%
アプリケーション マテリアルズ	589	613	+4.1%	+1.9%	29	37	+27.4%	+23.6%
その他、全社・消去	△171	△181	----	----	△20	△23	----	----
計	3,791	4,084	+7.7%	+3.2%	202	198	△1.9%	△3.9%

(注) 当期より一部の製品についてセグメント区分を変更しています。前第2四半期連結累計期間実績については変更後のセグメントに組み替えたうえ、当期の連結対象期間に調整した数値を記載しています。

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期比の()内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、プリンティングインキセグメントの業績にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[プリンティングインキ]

・日本 売上高： 403億円 前年同期比 Δ 2.3%
営業利益： 16億円 前年同期比 Δ 16.9%

オフセットインキ及び新聞インキは、需要減少の影響などにより、減収となりました。グラビアインキは、需要が堅調に推移したことなどにより、前年同期並となりました。以上の結果、全体としては減収となりました。

営業利益は、原料高騰の影響が合理化効果を上回り、減益となりました。

・米州・欧州 売上高： 1,377億円 前年同期比 +11.2% (+ 1.7%)
営業利益： 42億円 前年同期比 +48.4% (+46.2%)

欧州では、パッケージ用インキが底堅く推移しましたが、出版インキの需要が弱含みに推移し、減収となりました。北米では、パッケージ用インキが好調に推移しましたが、出版インキが継続する需要減少の影響などにより、減収となりました。中南米では全品目が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては、増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善に加え、継続的な合理化努力などにより、大幅な増益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高： 332億円 前年同期比 Δ 1.3% (Δ 2.2%)
営業利益： 13億円 前年同期比 Δ 43.6% (Δ 42.3%)

中国では、成長鈍化の影響などによりオフセットインキ及び新聞インキが落ち込みましたが、グラビアインキが好調に推移したことから、前年同期並となりました。東南アジアでは、新聞インキが需要減少などの影響を受けましたが、オフセットインキ及びグラビアインキが堅調に推移したことなどから、増収となりました。オセアニアでは、主に新聞インキが需要減少などの影響を受け、減収となりました。インドでは、全品目が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、全体としては、減収となりました。

営業利益は、原料高騰に加え、コスト増の影響などにより、減益となりました。

[ファインケミカル]

売上高： 690億円 前年同期比 +10.1% (+4.0%)
営業利益： 70億円 前年同期比 + 5.3% (+2.2%)

顔料は、国内ではカラーフィルター用が大きく伸びたほか、インキ用も堅調に推移し、欧米ではプラスチック用や化粧品用及び光輝材が伸びたことなどにより、国内外で増収となりました。TFT液晶は、需要は底堅く推移しましたが、拡販の遅れなどにより、減収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記状況に加え、品目構成の改善などにより、増益となりました。

[ポリマ]

売上高： 942億円 前年同期比 +11.9% (+10.6%)
 営業利益： 41億円 前年同期比 △27.9% (△28.7%)

国内では、エポキシ樹脂は、土木・建築向け需要が堅調に推移したこと、塗料用樹脂は、電気・電子向け需要が拡大したことなどにより、増収となりました。ポリスチレンは、需要が拡大したことなどにより、増収となりました。海外では、中国において需要が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、原料高騰に対する価格是正の遅れなどにより、減益となりました。

[アプリケーションマテリアルズ]

売上高： 613億円 前年同期比 +4.1% (+1.9%)
 営業利益： 37億円 前年同期比 +27.4% (+23.6%)

工業用粘着テープは、スマートフォン向けの一部顧客の需要が減少したこと、機能性光学材料は、電気・電子向け需要が減少したことなどから、減収となりました。一方、PPSコンパウンドは、自動車関連用途に加え、電気・電子及び住設関連向けも好調に推移したこと、インクジェットインキはシェアが拡大したことなどから、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記状況に加え、品目構成の改善などにより、大幅な増益となりました。

(3) 2014年度通期業績予想

(単位：億円)

	前期実績 (調整後)	通期予想	前 期 比 (調整後)	
				為替影響排除後
売上高	7,840	8,500	+8.4%	+4.8%
営業利益	441	500	+13.3%	+10.2%
経常利益	409	460	+12.5%	--
当期純利益	288	245	△14.8%	--

※前回予想(平成26年5月15日開示)と変更ありません。

(注) 前期実績については、当期の連結対象期間に調整した数値を記載しています。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれています。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第2四半期末の資産の部は前期末と比べて247億円増加し、7,864億円となりました。主として債権流動化の減少に伴い売上債権が増加したことによるものです。負債の部は、支払債務が減少しましたが、有利子負債の増加等により、前期末比138億円増の5,566億円となりました。また、純資産の部は、増資等により前期末比109億円増の2,298億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

[営業活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △39億円 (前第2四半期 △55億円)

当第2四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益が149億円、減価償却費が174億円となりました。一方で、運転資本の増加により240億円の資金を使用し、法人税等に81億円を支払いました。以上の結果、営業活動に使用した資金の総額は39億円となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 △181億円 (前第2四半期 △145億円)

当第2四半期連結累計期間は、設備投資に153億円を使用しました。また、子会社株式の取得により32億円を支払いました。以上の結果、投資活動に使用した資金の総額は181億円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー] 当第2四半期 348億円 (前第2四半期 150億円)

当第2四半期連結累計期間は、借入により278億円、株式の発行により108億円の資金を調達した一方で、剰余金の配当として27億円を支払いました。以上の結果、財務活動により得られた資金の総額は348億円となりました。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,576	28,978
受取手形及び売掛金	212,821	223,775
商品及び製品	86,402	87,518
仕掛品	8,963	9,794
原材料及び貯蔵品	50,483	55,454
その他	27,343	26,936
貸倒引当金	△10,794	△8,638
流動資産合計	390,794	423,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92,001	91,319
機械装置及び運搬具(純額)	70,609	68,297
工具、器具及び備品(純額)	8,355	8,299
土地	55,027	52,219
建設仮勘定	7,767	6,689
有形固定資産合計	233,759	226,823
無形固定資産		
のれん	1,666	1,595
ソフトウェア	10,356	8,996
その他	3,539	3,189
無形固定資産合計	15,561	13,780
投資その他の資産		
投資有価証券	41,615	39,671
退職給付に係る資産	15,822	20,041
その他	66,834	62,833
貸倒引当金	△2,695	△601
投資その他の資産合計	121,576	121,944
固定資産合計	370,896	362,547
資産合計	761,690	786,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,023	110,584
短期借入金	79,810	104,948
コマーシャル・ペーパー	—	24,000
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	7,613	3,654
賞与引当金	3,977	6,980
災害損失引当金	343	168
その他	65,461	58,972
流動負債合計	278,227	309,306
固定負債		
社債	28,000	28,000
長期借入金	180,262	162,566
環境対策引当金	1,997	1,997
退職給付に係る負債	32,830	31,550
資産除去債務	984	981
その他	20,443	22,165
固定負債合計	264,516	247,259
負債合計	542,743	556,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,154	96,557
資本剰余金	88,758	94,161
利益剰余金	89,166	96,737
自己株式	△883	△889
株主資本合計	268,195	286,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,945	2,011
繰延ヘッジ損益	△438	△308
為替換算調整勘定	△40,037	△47,967
退職給付に係る調整累計額	△34,447	△33,894
その他の包括利益累計額合計	△72,977	△80,158
少数株主持分	23,729	23,391
純資産合計	218,947	229,799
負債純資産合計	761,690	786,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	384,955	408,385
売上原価	303,685	324,067
売上総利益	81,270	84,318
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	19,454	21,555
貸倒引当金繰入額	649	1,098
賞与引当金繰入額	1,308	2,429
退職給付費用	1,532	1,492
その他	35,546	37,937
販売費及び一般管理費合計	58,489	64,511
営業利益	22,781	19,807
営業外収益		
受取利息	602	912
受取配当金	185	216
為替差益	227	—
持分法による投資利益	845	1,439
その他	1,130	1,798
営業外収益合計	2,989	4,365
営業外費用		
支払利息	3,424	3,489
為替差損	—	755
その他	1,687	1,557
営業外費用合計	5,111	5,801
経常利益	20,659	18,371
特別利益		
負ののれん発生益	—	371
固定資産売却益	524	251
特別利益合計	524	622
特別損失		
固定資産処分損	1,965	2,487
リストラ関連退職損失	1,526	876
減損損失	787	699
特別損失合計	4,278	4,062
税金等調整前四半期純利益	16,905	14,931
法人税等	5,259	4,319
少数株主損益調整前四半期純利益	11,646	10,612
少数株主利益	964	293
四半期純利益	10,682	10,319

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,646	10,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	848	2
繰延ヘッジ損益	334	128
為替換算調整勘定	25,471	△8,018
退職給付に係る調整額	△1,797	731
持分法適用会社に対する持分相当額	947	△24
その他の包括利益合計	25,803	△7,181
四半期包括利益	37,449	3,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,987	3,138
少数株主に係る四半期包括利益	1,462	293

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,905	14,931
減価償却費	14,852	17,419
のれん償却額	174	201
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△208	△2,022
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	2,963
受取利息及び受取配当金	△787	△1,128
持分法による投資損益 (△は益)	△845	△1,439
支払利息	3,424	3,489
固定資産除売却損益 (△は益)	1,441	2,236
減損損失	787	699
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,640	△9,627
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,546	△7,287
仕入債務の増減額 (△は減少)	△474	△7,092
その他	△6,473	△7,727
小計	1,602	5,616
利息及び配当金の受取額	1,607	2,307
利息の支払額	△3,480	△3,708
法人税等の支払額	△5,257	△8,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,528	△3,915
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△389	△1,399
定期預金の払戻による収入	126	347
有形固定資産の取得による支出	△15,215	△14,490
有形固定資産の売却による収入	1,604	677
無形固定資産の取得による支出	△1,293	△772
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,176
関係会社株式及び出資金の取得による支出	△27	—
関係会社株式及び出資金の売却による収入	313	—
投資有価証券の取得による支出	△22	△19
投資有価証券の売却及び償還による収入	100	6
その他	324	681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,479	△18,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,860	9,180
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	25,000	24,000
長期借入れによる収入	26,777	22,495
長期借入金の返済による支出	△27,006	△22,850
社債の償還による支出	—	△5,000
株式の発行による収入	—	10,806
配当金の支払額	△2,748	△2,748
少数株主への配当金の支払額	△881	△824
自己株式の純増減額 (△は増加)	△6	△6
その他	△248	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,028	34,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,329	△341
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,650	12,365
現金及び現金同等物の期首残高	22,529	15,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,879	27,369

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月17日付で公募増資を実施いたしました。また平成26年6月27日付で、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が5,403百万円、資本剰余金が5,403百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が96,557百万円、資本剰余金94,161百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	プリンティングインキ	ファインケミカル	ポリマ	アプリケーションマテリアルズ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	191,065	48,401	84,507	59,722	383,695	1,260	384,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15,925	2,538	—	18,463	—	18,463
計	191,065	64,326	87,045	59,722	402,158	1,260	403,418
セグメント利益	8,063	7,026	5,499	4,309	24,897	4	24,901

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	24,897
「その他」の区分の利益	4
全社費用(注)	△2,120
四半期連結損益計算書の営業利益	22,781

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間においては、「プリンティングインキ」セグメントにおいて764百万円、「ポリマ」セグメントにおいて23百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	プリンティン グインキ	ファイン ケミカル	ポリマ	アプリケーシ ョンマテリア ルズ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	202,011	51,284	92,596	61,320	407,211	1,174	408,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	17,763	1,605	—	19,368	—	19,368
計	202,011	69,047	94,201	61,320	426,579	1,174	427,753
セグメント利益	7,259	6,986	4,053	3,710	22,008	△18	21,990

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	22,008
「その他」の区分の利益	△18
全社費用（注）	△2,183
四半期連結損益計算書の営業利益	19,807

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第2四半期連結累計期間においては、「ポリマ」セグメントにおいて699百万円の減損損失を計上しております。

（重要な負ののれん発生益）

当第2四半期連結累計期間においては、「ポリマ」セグメントにおいて371百万円の負ののれん発生益を計上しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より一部の製品についてセグメント区分を変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。